



学校給食の無償化、あたたかい中学校給食を求める署名

相次ぐ物価高、雇用保険料引き上げ、75歳以上の医療費窓口負担2倍化など、ますます命と暮らしがおびやかされてきています。その中で安全でバランスのとれた食を子どもたちに確実に提供する学校給食の持つ役割が今、再評価されています。

すべての生徒が望む中学校給食は、『温かさ』と『おいしさ』であり、冷たいデリバリー給食ではありません。市内145校中、自校方式や親子方式などの学校調理方式で3区を除く15区で実施可能です。これにセンター方式を加えたミックス方式にすると、全18区で生徒の望む小学校のようなあたたかい給食の提供ができます。できるところから始めていきましょう。

また、家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもたちに給食を提供するのは国や自治体の責任です。そのためには給食の無償化が必要です。すでに全国で給食費完全無償化実施の市町村は227と年々増えています。箱根町、中井町でも始まりました。葛飾区、いすみ市（千葉県）でも来年から始まります。部分的な無償化も含めると500市町村を超え、全市町村の約3割以上となり、コロナ禍以降さらに増え続けています。横浜市でも、中学校給食を実現し、かつ小中すべての給食の無償化を実現することは可能です。『義務教育は、これを無償とする』と、憲法26条2でも記されています。給食費無償化の実施は、横浜市を『子育てしたいまち 次世代を共に育むまち』にしていくことにつながっていきます。

下記の項目の実施を求めます。



請願項目



1. 学校給食（小学校・中学校）を無償化すること。
2. あたたかい中学校給食を、ミックス方式で、できるところから実施すること。

氏名	住所